

令和7年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一般選抜】

人文社会学専攻

地理学コース

〔専門科目〕

試験日：令和7年2月1日（土）

注 意

1. 解答は、別添の解答用紙に記入すること。
なお、解答用紙には受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 6ページ（表紙を含め5枚）
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

第1問 次の6つの用語のうちから3つを選び、その意味や内容について、具体的に説明しなさい。解答にあたっては、選択した番号と用語を明記し、解答を解答用紙に記しなさい（解答順は問わない）。なお、必要に応じて図表などで示してもよい。

- (1) オーセンティシティ（真正性）
- (2) グリーンツーリズム
- (3) 特化係数（立地係数）
- (4) フィヨルド
- (5) ブラキストン線
- (6) BOD（Biochemical Oxygen Demand）

第Ⅱ問 以下の問1～2のうちから1つを選び、解答用紙の所定の欄に選択した問の番号を明記して、解答しなさい。なお、必要に応じて図表などで示してもよい。

問1 下の図は、国内外の各地点における1月の平均気温と積雪量（降水量換算）の関係を示したものである。以下の設問に答えなさい。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

注1：データは、1931年から1980年まで、地点によって異なる期間の平均値を示す。

注2：3°Cの点線は、降水が雪として降るか、雨として降るかの限界気温を示す。

資料：伊藤孝『日本列島はすごいー水・森林・黄金を生んだ大地』中公新書、2024年。

- 1) ヨーロッパ型、北越型、東北型、北海道型、アラスカ型のような、地域差が生じる要因について述べなさい。
- 2) 図中の1つの型もしくは都市を取り上げて、気候条件が地域に与える影響について述べなさい。

問2 下の図は、過疎地域および三大都市圏の人口増減率の推移（図1）と、過疎地域の人口増減の推移（図2）を示したものである。これらの図に関わる以下の設問に答えなさい。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

資料：国勢調査による。

注：過疎地域は2023年4月1日現在。

過疎地域とは、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき指定されている区域をいう。

三大都市圏は、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）の区域、大阪圏（京都府、大阪府及び兵庫県）の区域、名古屋圏（岐阜県、愛知県及び三重県）の区域。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

資料：総務省「住民基本台帳人口要覧」等による。

注：データの取得ができない一部過疎地域を含まない。

- 1) 図1中の、過疎地域の人口増減率の推移と三大都市圏の人口増減率の推移を比較して、読み取れることを述べなさい。
- 2) 図2から読み取れることを述べなさい。
- 3) 図1および図2から読み取ったことを踏まえつつ、過疎地域の現状と問題点や、近年の取り組みなどについて、具体的な事例をあげて説明しなさい。